

平成22年度教育委員会事務点検評価(平成21年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

整理番号 12

事務事業の名称	スポーツ教室等開催事業		担当部課	教育委員会 生涯学習部 体育課	
			電話番号	04-2953-1111 内線5711	
実施期間	~				
総合振興計画における位置づけ	5章	人を育み文化を創造するまちをめざして	実施計画(H21~23)事業名	スポーツ教室等開催事業	
	1節	生涯学習の振興			
	2項	スポーツ・レクリエーション活動の促進	個別計画等の名称	狭山市スポーツ振興基本計画	
	1目	スポーツ・レクリエーション活動の機会の拡充			
実施根拠	スポーツ振興法				
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務+自治事務				
事業開始の背景等	市民一人ひとりが年齢、体力、適性にに応じて、生涯にわたって「だれもが」「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるよう、そのきっかけづくりとして、スポーツ教室等をこれまで継続的に実施してきている。				

2 事務事業の目的・内容

目的	スポーツ教室や行事等を開催することにより、市民にスポーツに親しむきっかけを提供し、相互の交流を深めるとともに、健康づくりや体力を向上することにより生涯スポーツの振興を図る。	
対象	市内に在住、在勤、在学する者	
活動内容	平成21年度は、11種15回のスポーツ教室、4種7回のスポーツ行事を開催し、延べ開催日数は78日で、延べ2,043人の参加があった。また、市民総合体育館で平成20年度まで指定管理者と合同で開催していたスポーツ教室については、平成21年度より公募による民間の指定管理者に移行したことから、自主事業として3種3回のスポーツ教室に延べ990人が参加し、また、その他に体操教室等を開催した。	
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価)	継続
環境配慮	各教室や行事において、ゴミの持ち帰りの徹底を図った。	
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他( )	

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	目標値の根拠・考え方
(活動状況指標)	スポーツ教室開催回数	目標値	回	17	17	18	15	昨年度の実績
		実績値		22	20	15		
		達成率		129.4%	117.6%	83.3%		
	スポーツ行事開催回数	目標値	回	9	8	8	7	過去3年間のスポーツ行事開催回数の平均
		実績値		7	7	7		
		達成率		77.8%	87.5%	87.5%		
(成果指標)	スポーツ教室参加人数	目標値	人	2,197	2,251	2,248	2,043	昨年度の実績
		実績値		2,534	2,229	2,043		
		達成率		115.3%	99.0%	90.9%		
	スポーツ行事参加人数	目標値	人	1,275	1,258	1,227	1,112	過去3年間の延べ参加者数の平均
		実績値		1,186	1,228	922		
		達成率		93.0%	97.6%	75.1%		

4 事業費

		区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	
経費	直接費	予算額	千円	753	705	670	670	
		決算額	千円	676	679	514		
		財源内訳	国県支出金	千円				
			その他特定財源	千円				
	一般財源		千円	676	679	514		
	人件費	従事職員数	人	1.05	1.05	1.00		
		人件費(従事職員数×平均給与)	千円	9,412	9,633	9,195		
事業費計(直接費決算額+人件費)		千円	10,088	10,312	9,709			
効率性指標	指標名	参加人数(スポーツ教室・行事)	人	3,720	3,457	2,965	1単位当たりの経費	
	単位コスト	参加者一人当たりの経費	円	2,712	2,983	3,275		

5 事務事業の評価

第一次評価(担当課による評価)

項目	評価の視点	評価	評価理由
個別評価	必要性	4	スポーツに親しむきっかけを提供し、市民の健康づくりや高齢者の生きがいづくりに資するものであり、市民のニーズにも合致している。
		4	
	有効性	4	スポーツ教室等の開催回数や参加人数は、おおむね目標を達成できている。また、参加者からは各種目とも好評を得ている。
4			
効率性	手段の最適性 コスト効率の向上 受益者負担の適正化 執行体制の効率化 など	4	体育指導委員の活用やスポーツ・レクリエーション団体の協力により教室等を開催したことで、種目や回数の確保とコストの削減を行った。
		4	
< 5段階評価 > 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
今後の方向性	「だれもが」、「いつでも」、「どこでも」、「いつまでも」スポーツ等に親しむことができるよう、市民のニーズにあった教室を開催する。特に、健康志向に合致した教室等を開催する。		

6 その他(学識経験者に意見等)

重要な事業であり、成果を上げていると言える。事業間連携を促進する中で、上位施策への貢献度を上げるとともに、より効果的な事業展開が望まれる。